



2024年3月期

第2四半期決算説明資料

2023年11月14日

社会を変革する **I T イ ノ ベ ー タ**

当社は、2021年3月期については連結財務諸表を作成しておりません。
そのため本資料において、過去数値との比較を行っている項目については、
特段の記載がない限り単体の過去数値との対比になっておりますのでご了承ください。

会社概要 事業内容

業績概要

S I Gグループ成長戦略と長期ビジョン



経営理念

- 1** ITイノベーションにより社会の高度化に貢献する
ITは社会をより便利な方向へ、より安全な方向へと変えながら皆さんを幸せにしていきます。SIGグループはそんなITイノベーションの先頭に立ちます。
- 2** 自己革新と研鑽により社会のニーズにこたえる
ITの技術を真に社会に役立つものにするには安全で迅速で確実なシステムを構築する必要がありますし、これら高いレベルの要求を実現するために自己変革と先端技術の研鑽を実施しています。
- 3** 幅広く人材を受け入れプロフェッショナルとして育成する
幅広い人材の育成は企業の使命であり、特に大切とするテーマです。私たちは育成・指導・話し合いを行うことでビジネスを常に前進させています。
- 4** 会社の発展と業績の拡大によって社員の幸福を目指す
会社は社員みんなの夢を実現しつつ、事業を通して社会に貢献することが目標であり、その実現に向けて社員一人一人の力を集結させることが大切です。「Going All Together to SUCCESS」を合言葉に、挑戦していきます。

会社名

株式会社SIGグループ

代表取締役社長

石川 純生

連結従業員数

575名（2023年9月末日時点）

設立

1991年12月16日

グループ会社

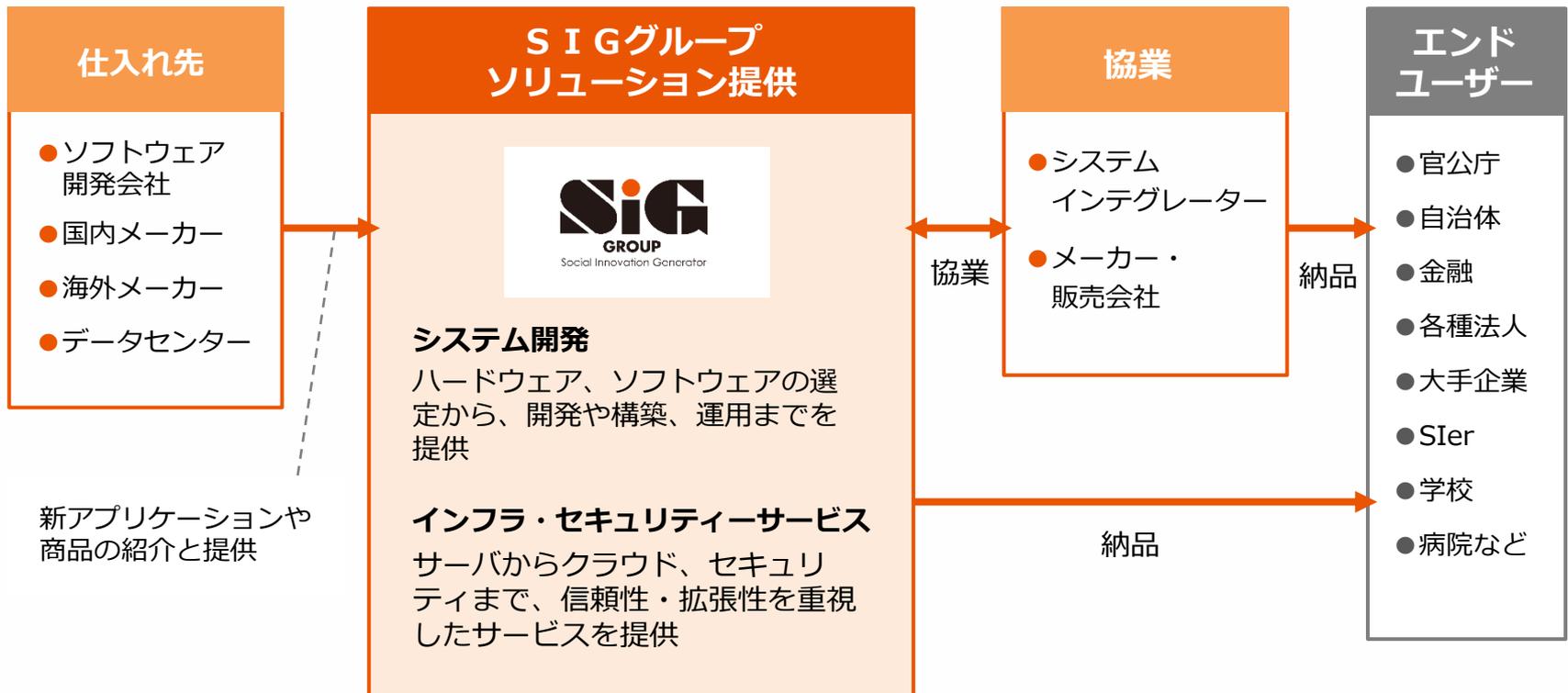
株式会社SIG

株式会社Y. C. O.

株式会社アクト・インフォメーション・サービス

株式会社アクロホールディングス

- 官公庁・上場企業のシステム開発から事業拡大し多数の実績とノウハウを獲得
- ソリューション提供を通して、多種・多様なシステムニーズに対応
- ユニークなシステム開発とクラウド化ソリューション提供のポジションを構築



システム開発

最適なシステムとなるよう、業務内容や目的に応じた企画の提案、ハードウェア、ソフトウェアの選定、システムの開発や構築、運用までを提供

官公庁



エネルギー



通信



自動車



FA



インフラ・セキュリティサービス

サーバからクラウド、セキュリティの設計から構築導入支援、運用管理まで信頼性・拡張性を重視したサービスを提供

証券オンライン
システム構築



防災システム
構築



クラウド/
ビッグデータ



クラウド環境
セキュリティ診断



指紋認証



業績概要

既存事業、新規受注ともに好調に推移し、売上高は対前年を大きく上回る

- 前期末に子会社化した株式会社アクト・インフォメーション・サービス（以下、「アクト社」）を除いた既存事業の売上は対前年で315百万円増加し、営業利益は対前年で26百万円増加しました。
- 前期はオフィス増床等の一時的費用の発生に伴い営業利益は低水準となりましたが、当第2四半期については、売上高上昇に伴い営業利益は好調に推移し、前年を大きく上回りました。
- 当社持分法適用関連会社である株式会社アクロホールディングスの子会社による事業損失の影響のため持分法による投資損失を34百万円計上し、四半期純利益は前年を下回りました。これは一過性の損失であり、通期見通しについては据え置いております。

(単位：百万円)

	2023年3月期		2024年3月期 (連結)		
	第2四半期実績	第2四半期実績	前年同期比	業績予想 (通期)	進捗率
売上高	2,550	3,430	34.5%	6,500	52.8%
営業利益	110	183	66.5%	315	58.2%
営業利益率	4.3%	5.3%	-	4.8%	-
経常利益	187	146	▲22.0%	360	40.7%
当期純利益	145	64	▲55.5%	220	29.4%

システム開発

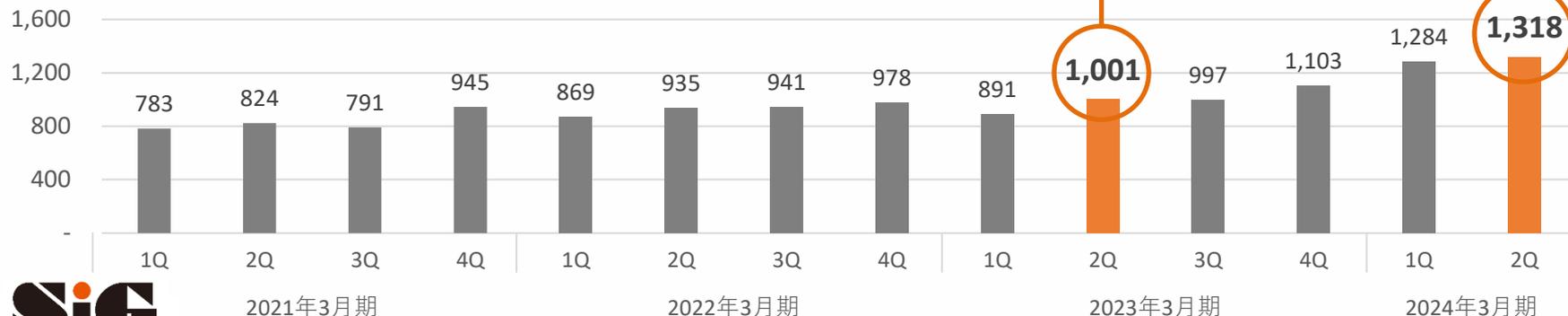
(単位：百万円)

	2023年3月期2Q	2024年3月期2Q	前年同期比
累計売上高	1,892	2,603	37.5%

アクト社の売上高（564百万円）を当連結会計年度より連結対象に取り込み売上高は大幅に上昇
 既存分野では製造系が市況の影響により減収もサービス系・公共系、エネルギー系が伸長した結果、前期比を上回り、好調に推移

- ・製造系：鉄鋼系プロコンシステム開発の請負案件の一部が2Qで終了したほか、世界的半導体市況のマイナス影響により、2Qから電子部品実装機関連の大幅体制縮小。公共系、その他分野に要員をシフトした結果、計画を下回る
- ・公共系：既存の政令都市向け人事給与システム保守・改修や公共系システム品質保証業務、自治体向けシステム構築などの安定需要のほか、2Qから政令都市向け国保標準システム導入案件を新規受注・プロジェクトがスタートした結果、前期比を上回り推移
- ・サービス系：主軸となる既存のMVNO*向けシステム開発の需要が1Qに引き続き好調のほか、ホームセンター向けの大型DX案件の請負案件の売上と、物流やその他の既存ユーザ向けシステム開発の安定需要に加え、近年取引が拡大している一般社団法人向けシステム開発等が好調な結果、前期比を大幅に上回り推移

(単位：百万円)



インフラ・セキュリティサービス

(単位：百万円)

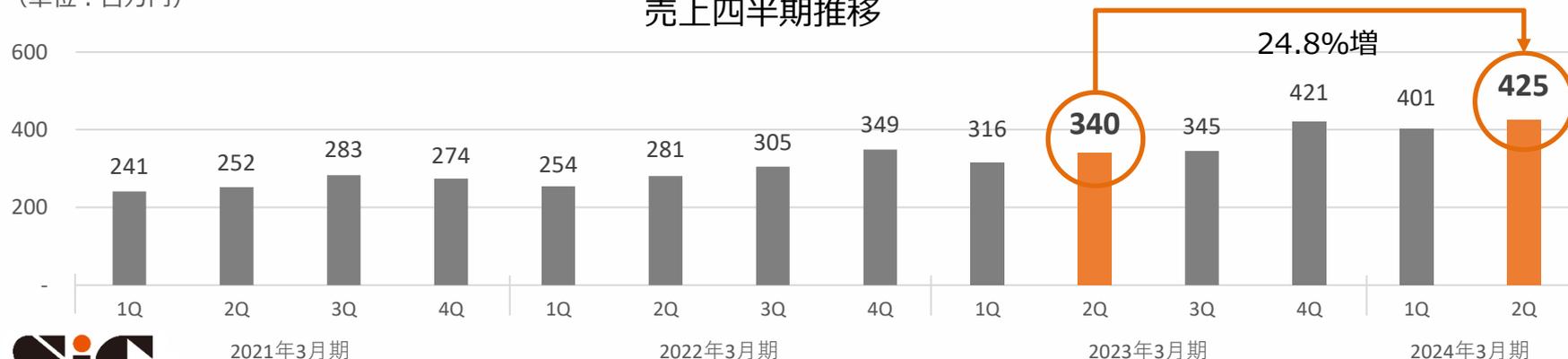
	2023年3月期2Q	2024年3月期2Q	前年同期比
累計売上高	657	827	25.8%

前期からの高成長を維持し、全国事業所拠点連携推進により、例年以上の成長を実現

- ・ 公共系 : 受託領域拡大努力により売上増となった一方、要員不足により外注比率が高まった結果、利益増は少なめであるが一般的には堅調に推移
- ・ エネルギー系 : 一般的に需要に応えられない状況が続いているが、2023年1月からの新規参入も成功し、売上利益共に堅調に推移
- ・ 金融系 : 受託領域や開発体制が安定し、CSソリューションセンターを中心とした地方拠点連携の延長上で1拠点増となり堅調に推移
- ・ セキュリティ系 : 高付加価値案件への要員配置や既存案件の単価アップにより大幅増収増益傾向が続く
- ・ サービス系 : AWSクラウド案件やシステム構築案件などの受託（請負）を対象に、全国拠点連携案件を強化させた結果、売上、利益共に増加傾向

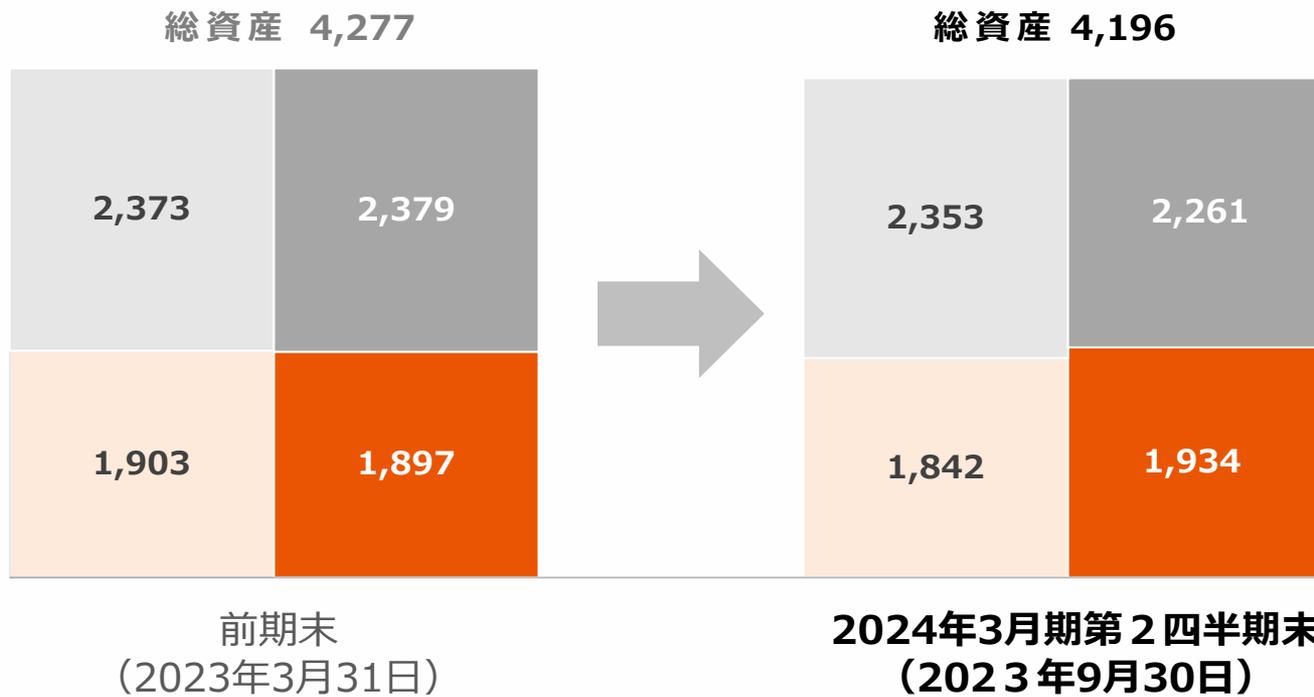
(単位：百万円)

売上四半期推移



- 流動資産：3月末終了案件が多く売掛金が減少、未収消費税等の還付による減少
- 固定資産：のれん、関係会社株式による減少
- 純資産：当四半期累計期間の純利益による増加

流動資産
 固定資産
 負債
 純資産
 (単位：百万円)



システム開発

前期実績：39.9億円 → 当期計画：48.4億円
(前年比+21.3%)



上期に引き続き、半導体市況のマイナス影響により製造系の通期業績は厳しい見通しだが、プラス面では、既存のMVNO事業等の主要領域の安定需要に加え、公共の政令都市向け国保標準システム導入プロジェクトの開始、自治体向けシステム開発、ホームセンターDX系案件の追加受注のほか、下期からエネルギー系基幹システム開発の上流工程案件がスタートするなど、通期ではほぼ計画通りの見込み。

概ね
計画通り

インフラ・セキュリティサービス

前期実績：14.2億円 → 当期計画：16.6億円
(前年比+16.8%)



対計画達成率は、第1四半期に引き続き順調に推移し、第2四半期累計期間では対前年を大幅に上回る121%となっている。

上期は計画外の商品販売や請負案件の受注が好調であったが、下期は請負案件の見通しが厳しいことから、現状では上期売上を下回る見通しとなっており、計画達成率では通期でほぼ計画通りの見込み。

概ね
計画通り

S I Gグループ成長戦略と長期ビジョン

- ITイノベーションにより社会の高度化に貢献する
- 自己革新と研鑽により社会のニーズにこたえる
- 幅広く人材を受け入れプロフェッショナルとして育成する
- 会社の発展と業績の拡大によって社員の幸福を目指す

経営理念

ITトータルソリューションカンパニー 「企業の外部CIO*として成長に貢献」

長期ビジョン ありたい姿

現状維持へのシステム構築 既存事業

顧客の所属する業界特有のニーズと仕様・用途を熟知するSIGグループができるソリューションを構築

事業成長へのシステム投資 新規事業

既存事業の業界知識を事業成長のソリューションへ活かす仕組みを構築

中期計画 課題と施策

第1フェーズは、SIGグループ文化の再評価から体制構築

第1フェーズ ~2024

第2フェーズ

~2027

第3フェーズ

~2030

文化の融合による
ビジネスチャンスの拡大

「崖越え*はSIGグループ」

- 大量のDX案件へ対応できる体制を作る
- 顧客に訴求できるソリューションの組成
- 売上：60億円

*崖越えとは、「2025年の崖」に由来し、IT環境のシステム変換ニーズの高需要とその需要に対応する人材の不足を当社で多くを対応しようという試み

ITトータルソリューションカンパニーへ

- バリューアップソリューションを既存顧客へ
- システム構築支援から事業成長支援企業へ
- 売上：170億円（既存60億、新規110億）

企業の外部CIOとして成長に貢献

- 国内：外部CIOとして企業成長に貢献
- 海外：国内実績を活かした事業支援を展開
- 売上：300億円（従業員2,000人体制）

顧客のビジネス変革（DX）を支援

得意領域の実績と
新規事業の注力分野
を融合させ、DX
ソリューションを
提案できる体制へ

持株会社として
機能を活かして
M&Aで機能強化

お互いの強みを活かす
パートナー開発

新規事業

注力分野

スマートデバイス
クラウド
セキュリティ

既存事業

得意領域

公共 製造
社会インフラ
金融 拠点

アクロHD との
協業

グローバル
人材

「崖越えはSIGグループ」の体制を構築し、売上高60億円*を達成

方針

- 事業体制強化と成長を勘案した数値目標を設定
- 事業執行の確実性とスピード化、ガバナンス強化のための持株会社化
- DX需要を確実に捉える体制を構築する

売上目標

(単位：百万円)

	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (目標)	2024年3月期 (計画)
売上高	5,418	6,000	6,500
営業利益 (営業利益率)	391 (7.2%)	600 (10.0%)	315 (4.8%)
EBITDA	444	—	438

グループ体制 2023年6月30日現在

持株会社

(株) SIGグループ

企業文化の形成

事業会社

(株) SIG

(株) Y. C. O.

(株) アクト・インフォメーション・サービス

(株) アクロホールディングス

スマートデバイス開発やクラウド、セキュリティ事業を強みに産学官のDX推進を支える

独立行政法人の管理業務等に特化した専門的な深い知識とノウハウを所有

大手企業案件で培った、多岐にわたるシステム開発・保守の高い技術を所有

個性豊かなIT企業グループの総合力でデジタル分野の全領域をカバー

AI・IoT事業

製造現場の人手不足対策としてスマートファクトリー化を加速する企業の支援

クラウド環境で
データを集積・AI分析し、
効率性を改善

実績

- IoTを利用した設備
保安全管理
- AI技術による生産
性向上システム

クラウド・セキュリティ事業

旧サーバーからのデータ移管に留まらず、クラウド上のデータ利活用・セキュリティに配慮した提案を実施

クラウド化支援

- クラウドへのデータ
移管業務
- データ分析・解析用
の基板構築支援

セキュリティサービス

- 脆弱性診断
- アプリケーション
設定確認

保守サービス

- 運用状況確認サービス
- ミドルウェアのバージョンアップ

ソリューションセンター

次世代の独自ソリューション開発を検討するプロジェクトを立上げ

各事業部から
次世代事業を
検討できる
人材を結集

現状維持へのシステム投資：ラン・ザ・ビジネス

システム
ソリューション
事業部

ICT
事業部

西日本
事業部

- スマートデバイスソリューションセンター
- CSソリューションセンター

新規事業

事業戦略室

新規事業
推進部

事業成長へのシステム投資：バリュー・アップ

「スマートデバイスソリューションセンター」では、AI・IoT技術を活かしたソリューションを提供します

「CSソリューションセンター」は、クラウド及びセキュリティ事業に関してソリューションを提供の第一弾として「AWS安全化ソリューション」のセミナーを始動

市場動向を収集・分析し、収益性改善と新サービス準備へ

進捗

- 【実績】 週次会議で他社動向を収集・分析し、既存サービスと単価改善
- 【実績】 社会インフラ事業会社他との関係構築を強化
- 【準備】 独自のドアノックツールの組成開始、新規開拓・既存顧客深掘りへ

クラウド・セキュリティ事業・取り組みの進捗・成果

セキュリティ業務の ノウハウの蓄積

- 競合他社とのサービス内容・価格を分析し、自社サービス価格を再設定し、収益性を改善
- 認知度が向上し、AWSより初めての紹介案件に対応

実績のある 社会インフラ事業 との連携

- 大手電力会社とのプロジェクトを通して、信頼関係を構築し、類似プロジェクト・案件増

グループ内で ターゲット企業を 深掘り

- 独自のクラウド・セキュリティサービスの組成の基盤を構築
- アライアンス先の模索以外のアプローチとして、クラウド・セキュリティー検査を梃にして、新規クラウド化案件の受注を狙うフロー構築を検討

特徴ある 企業とのアライアンス

今後の取り組み

【背景】

- DX化を検討する企業の多くがクラウドサービスの利用を開始
- クラウドサービスにセキュリティ対応は必須
- セキュリティーサービス単独ではなく、クラウドサービスの一環として新サービスを組成

- 独自のクラウド・セキュリティ検査サービスをドアノックツールとして開発
- グループ対応でクラウド案件の増注を目指す

サステナビリティ経営の実現をグループ強化に活かす

展開

- グループフォーメーション*を十全に活かすことで崖越えを目指す
- プロジェクト単位で最適なチームをグループ企業単位で組成
- グループ一丸となったサステナビリティ経営関連の推進体制がスタート

特長を活かしたプロジェクト運営体制

- グループ各社の特長を文化と捉え、プロジェクト単位の運営体制を通してビジネスチャンスを広大
- 特異案件の対応から物量対策まで、プロジェクトを通して、グループ機能を強化

SIGグループフォーメーション*



グループ間連携強化にサステナビリティ活動

- グループ各社にサステナビリティ活動に参画を依頼
- グループ各社の取り組みを相互で確認し、あるべき姿の共有を図る



配当に関するお知らせ

当社の配当政策は将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

このような配当政策を踏まえ、2024年3月期の中間配当金につきましては、1株あたり7円とさせていただきます。
これにより、年間配当金は1株につき14円00銭となります。

2024年3月期	第2四半期末	期末（予想）	合計
普通配当	7.0円	7.0円	14円
合計	7.0円	7.0円	14円

ディスクレームー

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- 当資料に関するお問い合わせ

株式会社 S I G グループ

経営企画室 TEL 03-5213-4580 (代表)